

令和2年度 第2学期終業式 式辞 (R2. 12. 18)

生徒の皆さん、おはようございます。

今週になって急に寒くなり雪が積もり、いよいよ冬本番といった状況になってきました。今年の夏以降、ラニーニャ現象が発生したと言われており、この冬は、例年より気温が低く降雪量も多くなる可能性が高いとの予報が出ています。今からちょうど10年前の2010年も秋以降ラニーニャ現象が発生していました。この年の大晦日から正月にかけて鳥取県中西部で大雪となり、米子市では観測史上最高の89cmの積雪を記録しました。この雪の影響で送電線の鉄塔が倒壊し大規模な停電が発生するなどの被害が出ましたが、大山町から琴浦町にかけての国道9号線で約1,000台の車が立往生するという大渋滞が発生しました。実は私もこの渋滞に巻き込まれた一人です。12月31日の夕方から1月2日の朝にかけて、約40時間、家族5人と犬1匹が車に閉じ込められました。その間、自衛隊の方がおにぎりや毛布を配ってくださったり、近所の方がお雑煮を届けてくださったりしました。この時感じた人の温かみや優しさ、夜通し除雪作業・物資の配給作業等をしてくださった多くの方々のご努力・奮闘への感謝の気持ちは今でも忘れることができません。

2020年は、新型コロナウイルスに怯え、振り回され、そして今までの常識や日常が大きく変わった1年でした。日本では感染拡大期と減少期を繰り返しながら、今、第3波と言われる感染拡大の局面にあります。この1年間、自分自身の感染の不安に怯えながら、感染者の治療・看護に日々奮闘しておられる医療従事者の方々に感謝とエールの気持ちを送ろうと世界中で様々な取組が行われています。本校でも、米子市公会堂をブルーライトアップして感謝の気持ちを表した商業科3年の課題研究「地域振興学」専攻の皆さん、米子市役所などで医療従事者への感謝と支援を呼びかける募金箱を設置した同じく商業科3年の「コンテンツ開発」専攻の皆さん、医療従事者の方々への感謝の気持ちを込めて作られた楽曲「世界中の隣人よ」を水陵祭で全員で合唱した1年生の取組などがありました。2020年は目に見えないものへの恐怖、自然への畏怖、人間の弱さを感じた1年でしたが、同時に人の優しさ、逞しさ、信じることの大切さにも改めて気付くことのできた1年だったと思います。

さて、皆さんにとっての2020年とはどのような1年だったのでしょうか。明日から19日間の冬休みに入りますが、皆さんには4月以降、自分がどんな事に取り組んだかをしっかりと振り返って欲しいと思います。また、そのことによって自分自身がどのように成長・変化したのかもしっかりと点検してみてください。自分の成長が感じられた人は幸せな人です。しかし、成長・変化が確認できなかった人も悲観することはありません。結果はすぐに現れるとは限りません。見た目の変化だけではなく気持ちの持ち方や考え方などの内なる変化も見逃さないてください。2020年の振り返りができたら次は、来る2021年に何に取り組むかを決めてください。新たに挑戦する事でも今年から引き続き取り組む事でも、暫くやっていたなかった事の再開でも構いません。来年1月7日の始業式では、やりたい事、やるべき事に満ち溢れた顔をした皆さんに出会えることを楽しみにしています。年末年始は普段出会わない人と接する機会が増えますが、コロナ対策を十分に行い、皆で良い年を迎えましょう。